

**重点課題** ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎「書くこと」「読むこと」の領域において、「詩の共通点を踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと」に課題がある。  
(五2 通過率66.7% 県38.9%)

◇「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、「修飾語と被修飾語の照応についての理解」に課題がある。  
(九五 通過率40% 全国51.8%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業等）**

◎複数の資料を関連づけて読むとともに、ペア・グループ活動を授業展開に位置付け、自分の考えを表現する必然性のある活動を設定する。資料に書かれている内容を正確に理解したうえで、どの部分を取り上げれば自分の意見の根拠としてふさわしいか考えさせる。

◇主語と述語の照応、修飾語と被修飾語の照応などについて、各領域の学習の中で取り上げていく。「書くこと」の学習では語順を変えることで伝えたいことがどのように変わるか考えさせる。

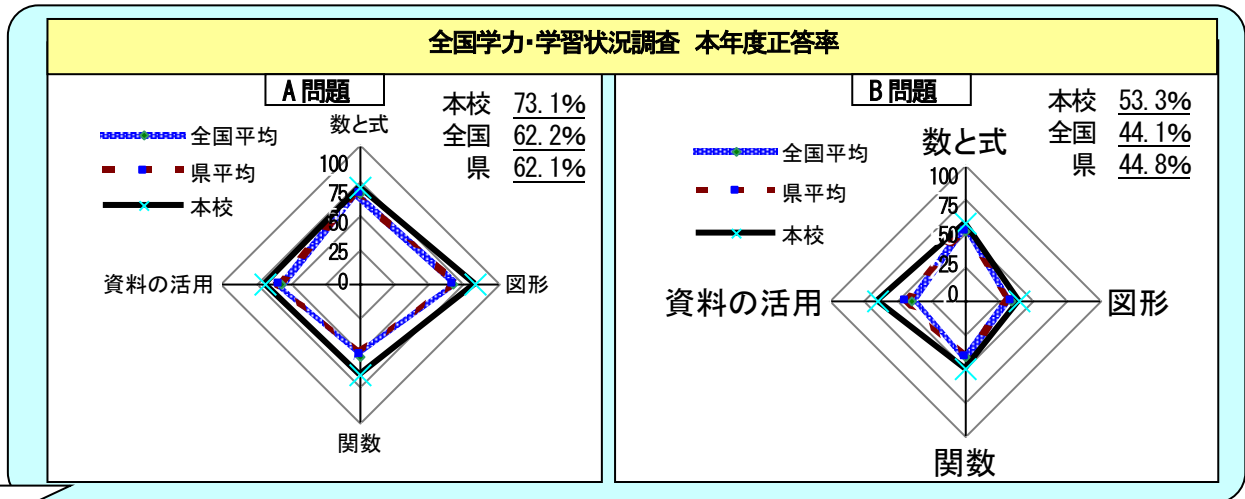
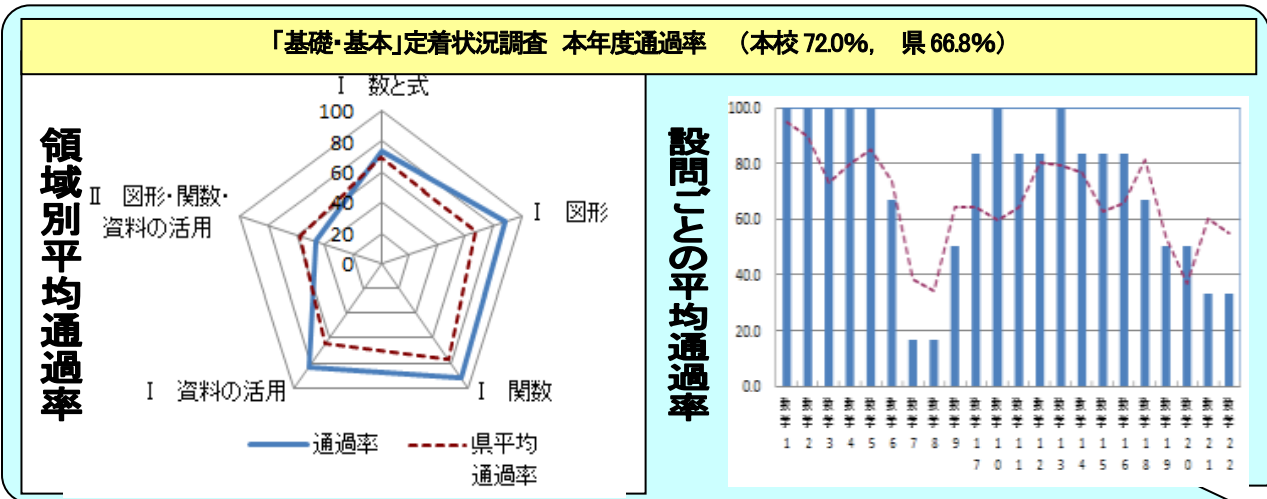
※昨年に引き続き、「文章を構成する力」に重点をおいた小中一貫カリキュラムを実践・検証する。段落相互の関係に留意しながら、根拠となる事実を明確にして自分の考えを書くことができるようにする。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験(類似)			2年生 H28「基礎・基本」		1年生 H28「基礎・基本」	
目標値	80%			100%		100%	
実施後数値	67%			67%		100%	

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生中間試験(類似)			3年生 H28「全国学力」		2年生 H28「全国学力」	
目標値	70%			80%		80%	
実施後数値	70%			80%		83%	

**来年度に向けて**

書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、推敲することを積み重ねる。複数の資料を関連づけて読み、根拠に基づいて自分の考えを書く言語活動を工夫して設定していく。



**重点課題** ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎文字式の表し方  
一方を1としたとき他方を割合(何倍か, 分数)で表すことが理解できていない。  
誤答例  $a + 1/5$ ,  $a - 3/5$  など実際の数値に割合を足したり引いたりしている。  
正解は  $(1 + 1/5)a = 6/5a$ ,  $(1 - 3/5)a = 2/5a$   
(2) (1) 本校 16.7%, 県 38.2%  
(2) (2) 本校 16.7%, 県 34.3%

◇1次関数のグラフの傾きを事象に即して解釈することが理解できていない。  
使用年数と総費用の関係を表すグラフについて, グラフの傾きを表す問題について, 誤答例 傾きを総費用 50%, 車両価格 20%, 使用年数 10%としていた。  
(B) (3) (2) 本校 20%, 全国 29.8%

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)**

◎文字式の表し方  
基準を1としたとき, 割合と実際の数値は計算しても意味がないこと, 基準より大きいときは割合は1より大きい分数となり, 基準より小さいときは1より小さい分数になることを改めて指導し, 具体的に計算して比べてみたり, 線分図を用いて表すことを指導する。

◇1次関数となるいろいろな事象を提示し, 式に表す活動をさせる。表した1次関数の式を, ことばを用いた式に表したり, 一般式との関連性を考えさせたり, 説明させる活動を取り入れる。 $x$ ,  $y$ , 変化の割合にあたることばを丁寧に確認させる。

※ 数学的表現を用いながら筋道立てて説明すること, 根拠を示して説明することを小中一貫して指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験		1年生期末試験			2年生 H28 「基礎・基本」	1年生 H28 「基礎・基本」
目標値	65%		100%			80%	100%
実施後数値	67%		100%			83%	100%

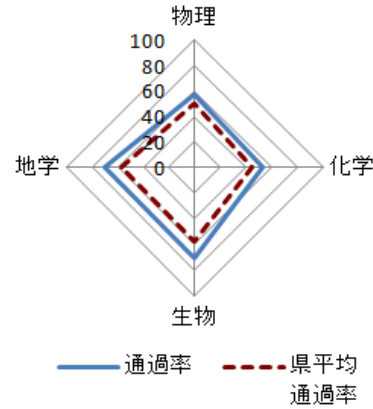
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間試験		3年生期末試験		3年生卒業試験		2年生 H28 「全国学力」
目標値	65%		70%		90%		80%
実施後数値	33%		60%		80%		50%

**来年度に向けて**

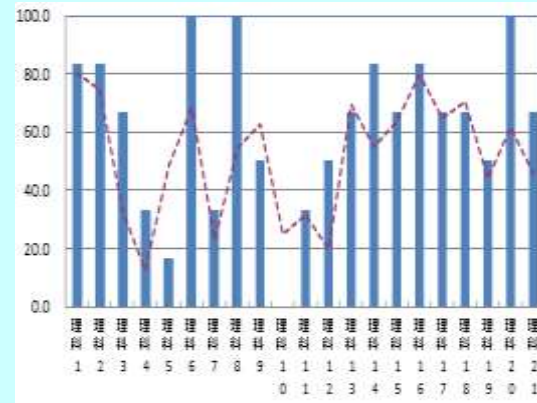
基本的な学習は継続的に小テスト等で実施定着を図る。自立学習でも復習させる。ペアで説明しあうことを実施したが, 定着まではいかなかった。長文を読んだり図や資料を活用する問題を定期的に取り組む。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 61.9%, 県 51.8%)

領域別平均通過率



教科別平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

◎①化学領域における「液体の混合物を分離する方法」で、言葉の理解が不十分なため、蒸留のしくみと溶けた物質を再び取り出す方法を示す言葉を完全解答できた生徒がひとりもいなかった。

④ (3) 通過率 0% 県25.0%

◎②物理領域で「重力の大きさとばねの伸びの関係」をしっかりと理解できていた生徒が16.7%であった。

② (3) 通過率16.7% 県48.8%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

◎①昨年同様、抽象的な理科学語の理解が不十分なために、物質を分離する方法について誤答する生徒がほとんどであった。実験を行う前に、きちんと理科学語について理解できるよう、赤線を引かせたり、マーカーで印をつけさせたりして、意識の高揚を図っていくとともに、5分間ドリル等の復習を活用して知識の確実な獲得を図る。

◎②全体的に不得意とする単元で、特に重さが重力に関係していることを考察できていなかった。実験内容を工夫して、自分の考え方の変化に気づかせるとともに、実験でわかったことを内容に照らし合わせながら確認する場面をより意識させるようにする。

※ 毎年の傾向として、理科学語の理解の不十分さが目立つので、自然のしくみを理解する際に、たとえを上手に使いながら、抽象的な用語の理解を助けるような授業を小中連携して行っていく。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間(類似)		2年生期末(類似)				1年生学年末(類似)
目標値	50%		65%				50%
実施後数値	50%		67%				50%

◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生中間(類似)		2年生期末(類似)				2年生学年末(類似)
目標値	65%		80%				80%
実施後数値	83%		83%				83%

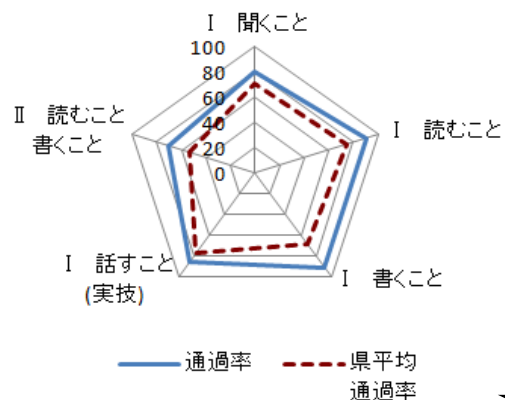
来年度に向けて

復習に重点を置き、理科学語の確実な取得のため、自立学習ノートを活用する。

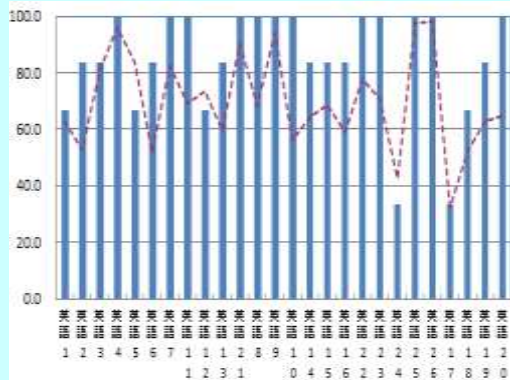
また、授業中のドリルの復習を今年度以上に重点的に行う。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 84.6%, 県 69.6%)

領域別平均通過率



教科別平均通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎①「読むこと」の領域において、「前後のつながりを考えて、適切な文を用いて会話文を組み立てる知識を身につけている。」に課題がある。  
 (7)2 通過率 66.7% 県 73.6%
- ◎②「読むこと・書くこと」の領域において、「適切な質問を考え英文を書くことができる」に課題がある。  
 (11)1 通過率 33.3% 県 32.2%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業等)

- ◎①日頃からペアで会話をするときに相手の話をよく聞いて、答える練習を行う。また、読むことに重点を置いた単元を行う時には、グループでスキットを作って他のグループが作ったスキットの穴埋めを作り、読ませてみて前後の流れを考える大切さを指導していく。
  - ◎②生徒が答えを手がかりに疑問文を作る練習をペア学習やグループ学習で行う。また、口頭練習や代用練習を何度も繰り返し行い、書く時間をできるだけ多く設定して、文のきまりを身に付ける指導をしていく。
- ※「話す・聞く」の能力を高めて「読むこと・書くこと」につなげていくことができるように、英語をたくさん聞かせ、様々な方法で口頭練習や代用練習を行う中で、自然に文のきまりを覚えさせる取組をしていく。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習試験				2年生復習試験 (類似)	1年生 H28 「基礎・基本」	2年生学年末試験
目標値	65%				80%	100%	100%
実施後数値	83%				83%	100%	100%
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生復習試験				2年生復習試験 (類似)	1年生 H28 「基礎・基本」	2年生学年末試験
目標値	50%				65%	100%	80%
実施後数値	17%				33%	100%	83%

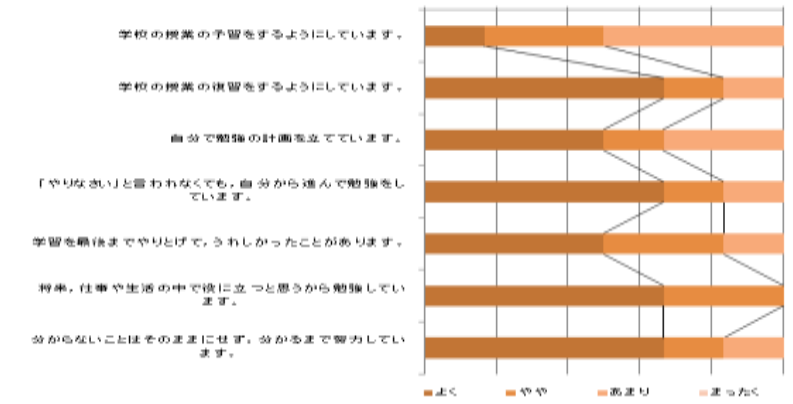
来年度に向けて

長文を読む時間や英文を書く時間をできるだけ設定する必要がある。  
 読んだり、書いたりする際に、前後の流れを考えることや文のきまりについて意識させる。

## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

### (1) 生活・学習

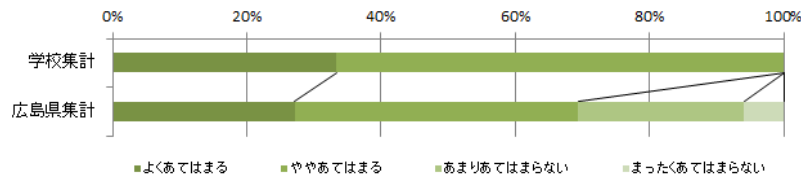
学習習慣・学習  
動機・学習意欲



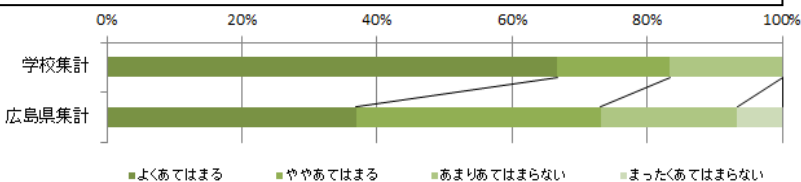
	生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	学校の授業の予習をするようにしています。 (本校50% 県38.6%)	・意味調べや英文をノートに書くなどの予習をさせる。 ・予習して難しかったことや詳しく学習したいと思ったことを書く。	2	65%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
全国	新聞を読んでいますか。 (本校50% 全国18.3%)	・学校に新聞を置き、朝の会または帰りの会で新聞スピーチを実施する。	3	70%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50

### (2) 教科

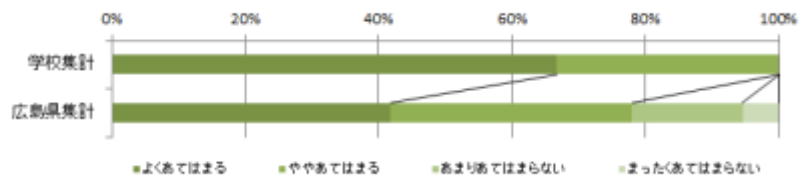
国語の授業では、伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています。



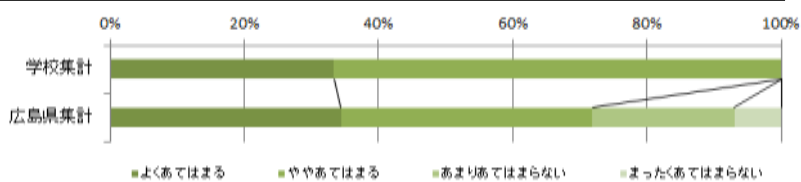
数学の授業では、問題を解くときには、前に習ったことが使えないかいつも考えています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、自分で観察器具や実験器具を使っています。



英語の授業では、相手からの質問や依頼を聞くとき、相手が何を求めているのかを注意して聞き、それに答えるようにしています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業で学んだことをふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えたりしています。 (本校50% 県58.5%)	学んだことをふだんの生活でどのように使えるか、単元の振り返りの場面で考えさせたり交流させたりする。	2	80%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
	全国 読書は好きですか。 (本校70% 全国69.9%)	交流の機会を設け、友だちのおすすめの本を読むことで本の楽しさに気付かせる。	3	80%	生徒アンケート調査	2月	90%	+20
数学	基礎・基本 数学の授業では式が何を表しているのかを考えたり、式にあてはまる問題を作ったりしています。 (本校16.7% 県55.5%)	文字式の立式や方程式、関数の領域でも式の説明をしたり、そうなるような問題作成を実施させる。	2	50%	生徒アンケート調査	2月	100%	+83
	全国 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。 (本校60.0% 全国69.1%)	問題によって複数の解き方を考えさせたり、他の人の解き方の交流を図り、他の解き方を説明させたりする。	3	80%	生徒アンケート調査	2月	100%	+40
理科	基礎・基本 理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。 (本校50.0% 県73.6%)	学習したことを確認しながら、新たな課題は何なのかを意識づけるようにする。	2	65%	生徒アンケート調査	2月	100%	+50
英語	基礎・基本 英語の授業では、分からない単語や熟語や自分が使いたい単語や熟語は、辞書を使って調べています。 (本校66.7% 県64.7%)	自分が友達に書いて伝えたいと思える「書く活動」の場面設定を行い、その際には、辞書を使うように促す。	2	80%	生徒アンケート調査	2月	100%	+33